

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和2年度】

年 月 日

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 202-0021

所在地 東京都西東京市東伏見3-5-36-101

評価機関名 有限会社 TCP

認証評価機関番号

機構 06 - 166

電話番号 042-452-8021

代表者氏名 鈴木 純平

印

以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①	山口 留美子	福祉	H1001014
	②	小野崎 透	福祉	H1601088
	③	鈴木 純平	経営	H0701017
	④			
	⑤			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	府中愛児園			
事業所連絡先	〒	183-0016		
	所在地	府中市八幡町3丁目18番		
	TEL	042-361-2726		
事業所代表者氏名	坪井 真由美			
契約日	2020年 9月 1日			
利用者調査票配付日(実施日)	2020年 10月 15日			
利用者調査結果報告日	2021年 2月 14日			
自己評価の調査票配付日	2020年 10月 15日			
自己評価結果報告日	2021年 2月 14日			
訪問調査日	2021年 2月 15日			
評価合議日	2021年 3月 5日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	事前説明には、評価の理解を深めて頂く為、評価の全体像や具体例を用いた判りやすい資料を作成し、コロナ感染症拡大防止対策を行いながら、職員への周知を図りました。事業評価においては、自己評価の事実確認に徹し、第三者性の担保に配慮しました。また、利用者調査および事業評価の集計結果には、独自開発による集計シートを用い、グラフ・表によるできるかぎりわかりやすいとりまとめを行いました。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

年 月 日

事業者代表者氏名

印

1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1)子どもの権利（生存権、発達権、幸福権）の保障を主体とする。</li><li>2)自己を十分に発揮しながら活動できるようにし、健全な心身の発達を図る。</li><li>3)子どもが健康で安全・安定した生活できる環境を用意する。</li><li>4)児童福祉の増進と向上につくし、地域に開かれた保育センターとしての機能をはたす。</li><li>5)子育ての期待に応える。</li></ol>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p> <p>(1)職員に求めている人材像や役割</p> <p>仕事に生きがいを持ち、与えられた仕事の中でもその人の思いをもって、創意工夫し、より良い方向に向かえる力を持つ人。ワークライフバランスがしっかりととれる人。</p> <p>(2)職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <p>子どもを愛し、大切にし、生活や遊びの中に安定した充足感を持たせることができ、子どもが健康で安全、情緒の安定が図れ、健康な心身の発達が図れるよう配慮できる人。</p>

調査対象

調査対象は、在園児の保護者全員を対象とし、複数のお子さんが通っている場合は最年少児について、1世帯1回答のご回答をいただきました。なお、利用者総数(353名)に対して、世帯数は300世帯となっています。

調査方法

園より保護者全員に調査票を配布して頂きました。回収については、評価機関へ郵送して頂くか、もしくは、園内に設置した回収ボックスに登降園時に投函して頂くようにしました。

利用者総数

353

利用者家族総数(世帯)

300

共通評価項目による調査対象者数

300

共通評価項目による調査の有効回答者数

201

利用者家族総数に対する回答者割合(%)

67.0

## 利用者調査全体のコメント

「現在利用している保育園を総合的にみて、どのように感じていらっしゃいますか」との質問に対して、「大変満足」58.2%、「満足」33.3%、を全て足すと91.5%の回答率となっており、園に対してほとんどの保護者が満足している状況がうかがわれます。個別の項目についても「はい」と回答している結果が多く、満足している状況がうかがえました。特に、「保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか」などは、「はい」の回答率が97.5%と満足度が高い結果でした。

## 利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	196	4	1	0
この項目では、195人が「はい」と答え、全体の97.5%を占め、「どちらともいえない」が2.0%、「いいえ」が0.5%という結果でした。また、自由記入の結果では、集団生活の中で、お着替えなど周囲の刺激もあり、身のまわりのことを自分からできるようになってきていますなどの声が聞かれました。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	190	10	0	1
この項目では、190人が「はい」と答え、全体の94.5%を占め、「どちらともいえない」が5.0%、「いいえ」が0.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、英語や体育など様々な経験ができて、とても楽しく過ごせていますなどの声が聞かれました。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	183	18	0	0
この項目では、183人が「はい」と答え、全体の91.0%を占め、「どちらともいえない」が9.0%、「いいえ」が0.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、家庭で用意しづらいメニューも出して頂きありがたいなどの声が聞かれました。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	163	21	13	4
この項目では、163人が「はい」と答え、全体の81.1%を占め、「どちらともいえない」が10.4%、「いいえ」が6.5%という結果でした。また、自由記入の結果では、今年はコロナの影響で、十分な機会が確保できていないと思いますなどの声が聞かれました。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	171	9	2	19
この項目では、171人が「はい」と答え、全体の85.1%を占め、「どちらともいえない」が4.5%、「いいえ」が1.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、とても柔軟に対応していただいておりますなどの声が聞かれました。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	168	27	4	2
この項目では、168人が「はい」と答え、全体の83.6%を占め、「どちらともいえない」が13.4%、「いいえ」が2.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、危機管理は素晴らしいと思いますなどの声が聞かれました。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	138	30	5	28
この項目では、138人が「はい」と答え、全体の68.7%を占め、「どちらともいえない」が14.9%、「いいえ」が2.5%という結果でした。また、自由記入の結果では、年間スケジュールが年度の初めに出るのはとても助かりますなどの声が聞かれました。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	162	32	7	0
この項目では、162人が「はい」と答え、全体の80.6%を占め、「どちらともいえない」が15.9%、「いいえ」が3.5%という結果でした。また、自由記入の結果では、連絡ノートに毎日細かく書いてもらい、さらにお迎え時に話す機会があり相談しやすい環境にあると思いますなどの声が聞かれました。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	172	23	2	4
この項目では、172人が「はい」と答え、全体の85.6%を占め、「どちらともいえない」が11.4%、「いいえ」が1.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、毎日、細やかなところまでお掃除してくださっていると思うなどの声が聞かれました。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	174	24	2	1
この項目では、174人が「はい」と答え、全体の86.6%を占め、「どちらともいえない」が11.9%、「いいえ」が1.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、不適切に感じる先生は今のところいませんなどの声が聞かれました。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	184	14	1	2
この項目では、184人が「はい」と答え、全体の91.5%を占め、「どちらともいえない」が7.0%、「いいえ」が0.5%という結果でした。また、自由記入の結果では、小さなケガも報告してくださり、安心していきますなどの声が聞かれました。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	126	31	4	40
この項目では、126人が「はい」と答え、全体の62.7%を占め、「どちらともいえない」が15.4%、「いいえ」が2.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、ベテランの先生も多く、とても信頼していますなどの声が聞かれました。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	177	21	2	1
この項目では、177人が「はい」と答え、全体の88.1%を占め、「どちらともいえない」が10.4%、「いいえ」が1.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、子どものペースを大事にして見守ってくれているように思うなどの声が聞かれました。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	163	24	1	13
この項目では、163人が「はい」と答え、全体の81.1%を占め、「どちらともいえない」が11.9%、「いいえ」が0.5%という結果でした。また、自由記入の結果では、別室に案内していただき安心してお伝え出来ましたなどの声が聞かれました。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	162	29	7	3
この項目では、162人が「はい」と答え、全体の80.6%を占め、「どちらともいえない」が14.4%、「いいえ」が3.5%という結果でした。また、自由記入の結果では、毎日細かく日誌に様子を記入、口頭でも報告がありますなどの声が聞かれました。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	152	26	4	19
この項目では、152人が「はい」と答え、全体の75.6%を占め、「どちらともいえない」が12.9%、「いいえ」が2.0%という結果でした。また、自由記入の結果では、要望にはすぐに対応してくれるので不満を感じたことはありませんなどの声が聞かれました。				
17. 外部の苦情窓口（行政や第三者委員等）にも相談できることを伝えられているか	116	22	15	48
この項目では、116人が「はい」と答え、全体の57.7%を占め、「どちらともいえない」が10.9%、「いいえ」が7.5%という結果でした。また、自由記入の結果では、しおりに書いてありますなどの声が聞かれました。				

## I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
	カテゴリ1	
1	リーダーシップと意思決定	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 7/7
	<b>評価項目1</b> 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	○非該当	
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	○非該当	
	<b>評価項目2</b> 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている
	○非該当	
	●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している
	○非該当	
	<b>評価項目3</b> 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている
	○非該当	
	●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している
	○非該当	
	●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている
	○非該当	
	カテゴリ1の講評	
	理念・目標等に基づく向き性を伝え、日常保育や会議等を通じて共有しています 法人理念に基づき、保育理念、保育目標等を掲げ、目指すべき方向性を示しています。理念や目標等は、園内掲示、ホームページへの掲載、園のしおりやパンフレットへの記載等により幅広く周知しています。また、事業計画書に記載し、日常の保育と連動させながら周知しています。例年、入職時の説明や日常の職員会議等で保育と連動させながら確認し、理解を深めています。保護者には、例年、事業説明会等で説明していますが、今年度はコロナ感染拡大防止対策のため、入園のしおりや説明会資料の配布等を行い、丁寧に伝えています。	
	経営層は、職員が力を発揮できるよう助言し、リーダーシップを発揮しています 経営層の役割や責任については、組織図で体制が明確に示されています。また、職員の業務内容等が示された職務分担表が作成され、全職員に配付し、それぞれの行動指針となっています。また、経営層は職務分担表に基づき従事し、適宜、職員会議等で伝え、職員に助言・指導を行いながら園の方向性を示し、職員間での共通理解に努めています。さらに、経営層は、全ての職員が力を発揮できるようサポートすることを心がけ、全ての業務分担について責任を持って任せるように役割と責任をもってリーダーシップを発揮しています。	
	重要な案件の決定経緯や内容は、伝達方法を工夫しながら全職員に周知しています 会議体系は、責任者会議、職員会議、各クラス会議等を設定し、マニュアルの中で決定手順を明確に示しています。重要な案件等は、今年度は、コロナウイルス感染症対策を行いながら、適宜、会議を開催し、話し合いを行い意思決定されています。決定内容や経緯等は、各年齢から代表者が会議等に参加し、配布資料や口頭、クラスノート等を活用しながら職員全体の周知に努めています。また、緊急連絡等は、内線を活用して各棟やクラスに周知しています。保護者には、お知らせの掲示や、手紙の配布、口頭での伝達などにより周知しています。	

2 カテゴリー2		
事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(000000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	○非該当
●あり ○なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	○非該当
●あり ○なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	○非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	○非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	○非該当
●あり ○なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	○非該当
カテゴリー2の講評		
<p>利用者や職員の意向、地域情報を収集し、園運営や地域の子育て支援に活かしています</p> <p>利用者の意向把握に向けて、例年、行事や保育参観後の感想、懇談会や面談、第三者評価受審時の利用者調査などを実施し、保護者の意向や意見を収集しています。収集した意見や意向は、とりまとめ、内容の把握、検討を行い対応しています。職員の意向は、各会議等での意見交換を通じて把握しています。また、地域の福祉ニーズは、例年、地域の行事への参加、子育て広場の参加者および園見学者等との交流、各種保育団体等からの情報提供等により把握を行っています。収集した情報は、園運営や地域の子育て支援等に活かしています。</p> <p>法人の理念に基づく中期的な方向性を踏まえ、単年度の事業計画が作成されています</p> <p>法人として、中長期の方向性が示されています。また、理念、ビジョンに基づき、各部署において、前年度の評価・反省や、保護者意向や行事の感想結果等を踏まえた話し合いがなされ、年度末にとりまとめられ、事業計画が作成されています。事業計画は各クラスにおいてデータでの閲覧ができ、周知されています。行事や係などの短期的な活動については、役割分担がなされ、担当者を中心にそれぞれ計画的に取り組んでいます。年度当初には計画に基づく起案書が作成され、年齢毎に予算の確認が行われ、予算の適切な執行を心がけています。</p> <p>事業計画等は、期毎に評価・確認・報告を行い、計画の推進に取り組んでいます</p> <p>園が掲げる保育目標等の実現に向けて、事業計画や指導計画、行事予定等が作成されています。計画の着実な実行に向けて、日常保育では指導計画に基づき、ねらい、反省、評価が行われています。また、計画の推進にあたり期毎に評価・反省を行い、主任等で確認後、理事会への報告がなされ、進捗状況の確認と次年度への反映を行っています。なお、今後はさらに、法人理念や方針等の方向性に基づく、より具体的な中長期計画の明確化を図り、職員間で保育園運営の方向性の共通理解を深めていくことが期待されます。</p>		

3 経営における社会的責任			2/2
サブカテゴリー1(3-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		○非該当
サブカテゴリー2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		○非該当
●あり ○なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		○非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		○非該当
●あり ○なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		○非該当
サブカテゴリー3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		○非該当
●あり ○なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		○非該当



評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が地域の一員としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している	○非該当
●あり ○なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる	○非該当
<p align="center"><b>カテゴリ3の講評</b></p> <p><b>守るべき規範、倫理に対して就業規則の確認や研修の実施等で理解を深めています</b>  職員として守るべき法・規範、倫理は、就業規則等に社会人としての姿を明示し、確認しています。また、入職時の就業規則の説明や新人研修、職員会議での事例検証などにより、職員の理解を深めています。非常勤職員等については、契約時の説明と誓約書により、内容の理解と確認がなされています。苦情解決等については、担当者、第三者委員等の設置による苦情解決制度が整備されていることを明確化し、定期的に第三者委員の紹介もなされています。苦情等に対しては、苦情解決マニュアルや苦情処理記録等を作成し、適切な対応を心がけています。</p> <p><b>マニュアル等を整備し職員意識の向上を図り組織的な虐待防止の体制を整えています</b>  地域に開かれた保育園として、例年、ボランティアや実習生、小中学校の職場体験等の受入れに取り組んでいます。地域の子育て支援では、一時保育や子育て広場を実施し、地域の在宅子育て家庭の支援を行っています。また、地域の高齢者施設や在宅支援センターとの交流、地域の行事への連携や交流、府中市立園長会、福祉祭り、虐待委員会参加、などを通じて、地域社会の一員としての役割を果たしています。今年度は、新型コロナウイルスの影響により地域との連携を控えていることか、保育園を紹介するための情報発信に努めています。</p> <p><b>地域に向けた保育園として、より丁寧な情報発信を行え、保育園の周知に努めています</b>  地域に開かれた保育園として、例年、ボランティアや実習生、小中学校の職場体験等の受入れに取り組んでいます。地域の子育て支援では、一時保育や子育て広場を実施し、地域の在宅子育て家庭の支援を行っています。また、地域の高齢者施設や在宅支援センターとの交流、地域の行事への連携や交流、府中市立園長会、福祉祭り、虐待委員会参加、などを通じて、地域社会の一員としての役割を果たしています。今年度は、新型コロナウイルスの影響により地域との連携を控えていることか、保育園を紹介するための情報発信に努めています。</p>		
<p align="center"><b>カテゴリ4</b></p>		
4	リスクマネジメント	
<p align="center">サブカテゴリ1(4-1)</p>		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		<p align="center"><b>サブカテゴリ毎の標準項目実施状況</b></p> <p align="right"><b>5/5</b></p>
<p>評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる</p>		<p align="right">評点(〇〇〇〇〇)</p>
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当

サブカテゴリ-2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>4/4</b>
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(0000)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ-4の講評		
<p>マニュアル整備や訓練の実施、季節や必要に応じたリスク対応などがなされています</p> <p>園運営におけるリスクに対して、保健・安全管理・感染症などの各種マニュアルを整備しています。毎月の避難訓練では、様々な場面を想定した訓練や、例年、消防による救命救急交流や警察による交通安全講習などの機会等があり、職員や子どもの危機管理意識の向上に取り組んでいます。また、夏季の熱中症予防、感染症時期の嘔吐処理対策など、季節に応じたリスクマネジメントにも取り組んでいます。今年度は、新型コロナウイルス感染症への対応を明確にし、手洗いや消毒の徹底、保護者等の園内への入室範囲の制限等、適切な対応がなされています。</p> <p>大規模災害等に対する事業継続計画や防災マニュアルを作成し、職員に周知しています</p> <p>大規模災害等に対して、事業継続計画(BCP)が整備されています。また、計画に基づく防災マニュアルの改訂が今年度行われています。マニュアルでは、想定される災害、災害時の対応や体制、日頃の備えなどについて明示し、災害後の復旧に向けた取り組みが想定されています。職員には、いつでも見られるようデータによる管理と周知がなされています。事故・ケガ等は、事故記録の作成やヒヤリハットの取り組みから、事例検討や要因分析を行い、改善策等の検討を行っています。さらに、園内の危険箇所チェックなど、危機管理の向上に取り組んでいます。</p> <p>パスワード設定や使用者権限など、データ管理がなされ情報の保護・共有を図っています</p> <p>園運営に関する重要な文書等は、鍵のかかる書棚で管理・保管され、必要に応じて最新の状態になるよう更新されています。園内は無線LANによるネットワークが構築されており、各クラスに1台のパソコンが設置され、情報の共有化が図られています。また、データ化された個人情報等は、システムによるセキュリティ管理がなされ、IDとパスワード設定によるアクセス権限の制限を行っています。電子データの記録媒体等は、持ち出し禁止となっています。</p>		
カテゴリ-5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリ-1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 <b>12/12</b>
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(00)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当

<b>評価項目3</b> 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		<b>評点(0000)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
<b>評価項目4</b> 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		<b>評点(0000)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
●あり ○なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリー-2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		<b>サブカテゴリー毎の標準項目実施状況</b> <b>3/3</b>
<b>評価項目1</b> 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		<b>評点(000)</b>
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当
<b>カテゴリ-5の講評</b>		
<b>職員の意向を把握し、経験年数や園全体のバランスを考えた人員配置に努めています</b> 保育園における正規職員は、法人で採用を行っており、求人広告等を通じて募集を行い、毎年、必要な人材の確保に努めています。園での人員配置は、配置希望アンケートを実施し、本人の意向を確認した上で、経験園全体のバランスを考え適材適所に配置しています。園での長期展望(キャリアパス)は、人事考課として自己評価表が整備され、キャリアアップ研修への参加等がなされています。今後はさらに、園での求める職員像を明確化し、職責や役割等について保育園としてのキャリアパスをより具体化した人材育成を促進していくことが期待されます。		
<b>職員の目標や研修希望など能力向上のニーズを確認し、人材育成に取り組んでいます</b> 人材の育成については、職員一人ひとりが毎月に立てた能力向上の目標に基づき、クラスリーダーが面接・助言等を行い、各職員が研修計画を作成しています。また、研修係を中心に、園内研修、新人研修など、研修の充実を図り、職員の育成に取り組んでいます。例年、個別の研修計画に基づく研修参加がなされています。今年度においてはコロナ禍により十分に研修の機会が持てない状況となっておりますが、リモートによる研修への参加や園内での学びの機会などで工夫し、職員の資質と能力の向上に取り組んでいます。		
<b>各クラス会議等で、日常の気づきや工夫等を話し合い、職員的能力向上を図っています</b> 人事考課については、職員一人ひとりの自己評価表に基づき、他者評価を踏まえた人材マネジメントに取り組んでいます。就業状況は、シフト管理や休暇取得の配慮、年1回のストレスチェックなどが実施され、健康で働きやすい職場づくりに努めています。職員一人ひとりの気づきや工夫について、各クラスや責任者会議で話し合い、共有しています。職員が受講した研修は、研修報告や資料の閲覧、職員会議での発表等により、職員間の共有化を図っています。また、園内研修では、テーマを設定した話し合いがなされ、組織としての学びと能力向上を図っています。		

7 カテゴリー7	
事業所の重要課題に対する組織的な活動	
サブカテゴリー1(7-1)	
事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている	
評価項目1 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)	
前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)	
<p>少人数で保育することにより、一人ひとりの個性を大切に支援することを重要と捉え、「各年齢の少人数化を図る為の施設の増設」を目標に設定し、計画的に取り組んでいます</p> <p>取り組みでは、平成28年から継続的に進められ、始まりとして、平成29年4月に資金計画書を府中市へ提出しました。具体的な取り組みとしては、平成29年度において、緑町保育室の増設に向け具体的な話し合いを重ねながら、着実に計画の推進がなされました。さらに、プロジェクトチームが主になり園全体で話し合いを重ね細かい部分を決定し、保育担当者により出来上がった保育室をどのように使用するか検討されました。</p> <p>計画的に取り組んだ結果、平成30年4月1日に緑町保育室を開園することができ、令和元年度には少人数化による保育実践が行われました。緑町保育室を0歳児保育室として運営し、静かな環境で落ち着いた保育を実施しました。</p> <p>振り返り(検証)結果では、開園された保育室を活用し、少人数による継続的な保育の実践を今後の計画に反映しています。</p>	
目標の設定と取り組み	<input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った <input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった <input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていない
取り組みの検証	<input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った <input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていない(目標設定を行っていない場合も含む) <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
検証結果の反映	<input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた <input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない <input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である
評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評	
<p>少人数で保育することにより、一人ひとりの個性を大切に支援することを重要と捉え、「各年齢の少人数化を図る為の施設の増設」を目標に設定し、計画が立てられています。</p> <p>目標の達成に向けて、平成29年度から毎年、計画的に進められ、平成30年に緑町保育室の開園がなされています。また、少人数での保育に向けて、開園した緑町保育室で保育実践が計画的に進められています。</p> <p>取り組みの結果、少人数での保育を実践するための施設の増設が図られ、0歳児保育室として具体的な保育実践が行われました。設定した目標に対して、達成が図られています。</p> <p>振り返り(検証)では、緑町保育室を0歳児保育室として、少人数保育の実践を継続的に行っていくことを次年度の計画に反映させています。</p> <p>組織運営としてのPDCAサイクルの取り組みが進められています。</p>	

評価項目2

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

府中市における1・2歳児の待機児童増加を継続的な課題と捉え、「1・2歳児の待機児童数の増加を解消し、保育室として利用していた遊戯室を空き部屋とする」を引き続き目標に設定し、計画的に取り組んでいます。  
 取り組みでは、プロジェクトチームにより緑町保育室を整備し、幼児棟、乳児棟、緑町保育室3棟における保育室配置を検討し、0歳児20名、1歳児60名、2歳以上児66名で受け入れています。  
 取り組みの結果、緑町保育室で0歳児を保育し、乳児棟で1・2歳を保育しており、1歳児から2歳児に上がる際、幼児棟に移動だったことが、同じ棟での保育になり、子どもたちが慣れ親しんだ環境にすることで4月当初例年より泣くことが少なく、安定した保育となりました。幼児棟では、1,2階と分かれていた3歳児の保育室を、2階フロアに3クラス配置したことで連携がとれ、保育がスムーズに行われました。遊戯室が空いていることで、体育遊び等遊戯室で行うことができ安全な環境で十分に体を動かすことができました。  
 振り返り(検証結果)では、年齢に適した環境で保育することができ、安定していることから、継続的な取り組みとして、次年度の計画に反映しています。

<p>目標の設定と取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li> </ul>
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>

評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

府中市における1・2歳児の待機児童増加を継続的な課題と捉え、「1・2歳児の待機児童数の増加を解消し、保育室として利用していた遊戯室を空き部屋とする」を引き続き目標に設定し、計画が立てられています。  
 目標の達成に向けて、プロジェクトチームを中心に、幼児棟、乳児棟、緑町保育室3棟における保育室配置の継続的な検討の基、0歳児20名、1歳児60名、2歳以上児66名で受け入れを行い、具体的な取り組みがなされています。  
 取り組みの結果として、取り組みの結果、定員の変更により、遊戯室を空き部屋とすることができ、慣れ親しんだ環境で安定した保育を実施することができました。幼児棟では、1,2階と分かれていた3歳児の保育室を、2階フロアに3クラス配置したことで連携がとれ、保育がスムーズに行われました。設定した目標に対して、達成が図られています。  
 振り返り(検証)では、継続した取り組みとして、次年度への計画に反映させています。  
 組織運営としてのPDCAサイクルの取り組みが進められています。

## II サービス提供のプロセス項目(カテゴリ-6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目	
サブカテゴリ-1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-1の講評		
<p>入園希望者に向けて、保育に関する情報をわかりやすく、幅広く紹介しています</p> <p>保育園に関する基本情報は市が集約し、入園を希望される方に向けて保育園の情報や案内を発行しています。また、入園を希望する保護者が具体的に理解できるように、パンフレットは、イラストで保育の特色や園での子どもの生活する姿を分かり易くするなどの工夫がなされています。さらに、最新の園の様子や情報を発信し、入園を希望する保護者が具体的に理解できるように、平成30年度にリニューアルしましたが、ホームページの更新に関しては、課題意識が何われ、今後はさらに、担当職員の配置や新規情報の提供を行っていくことが期待されます。</p> <p>保育園に関する情報は、行政や関係機関等と協力して紹介しています</p> <p>園の情報は、行政に定期的に報告をしています。また、コミュニティセンターなどへのパンフレット、広報物、通信物の配置、学童クラブや、地域商店街、住民の方々へ行事の際のポスター掲示など、関係機関等と連携した情報発信に努めています。園の情報を発信することにより、入園を希望する方々に向けて、実際の園の活動や様子を知れるよう取り組んでいます。さらに、園の行事への卒園者の参加や近隣の方々の理解と協力、防犯、防災への協力を得るうえでも役立っています。</p> <p>見学では、柔軟な対応を心がけ、満足が得られるようわかりやすく説明しています</p> <p>園見学は、例年、年間を通して、随時、受け付けており、可能な限り希望に沿うように対応しています。保育の建物が子どもの年齢により異なるため、予約の際には、見学者の氏名や利用を希望する子どもの年齢、見学時間帯の区分を確認しています。見学に際しては、マニュアルを作成し、説明内容の統一化をするなど、誰が担当しても、見学希望者の満足が得られる説明が出来るようにしています。今年度は、人数制限や消毒、検温、手洗いなどのコロナ感染症対策を行いながら、適切に見学者の受け入れを行っています。</p>		

サブカテゴリ-2		
2	サービスの開始・終了時の対応	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 6/6
<b>評価項目1</b> サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
●あり ○なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している	○非該当
●あり ○なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている	○非該当
●あり ○なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している	○非該当
<b>評価項目2</b> サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている <p style="text-align: right;">評点(〇〇〇)</p>		
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>	
●あり ○なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している	○非該当
●あり ○なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている	○非該当
サブカテゴリ-2の講評		
<p><b>入園に際して基本的ルールや重要事項など、資料を配付し、ていねいに伝えています</b></p> <p>入園が決まった利用者に対しては、例年、入園前面接、事業説明会、入園式、個人面談等を行い、保育内容等について保護者に説明し、理解と同意を得ています。保育園の基本的なルールや重要事項等の内容は、重要事項説明書等に記載し、書類として残しています。今年度は、コロナウィルス感染症の影響により、説明の機会が少なくなっていることから、事業説明会の資料や入園のしおり等配布して、内容が伝わるように努めています。保育所における個人情報の取り扱いに関しても、同意書を用意して内容の理解と同意を得ています。</p> <p><b>入園当初は子どもや保護者の生活リズムに配慮し、個別状況に応じた対応をしています</b></p> <p>入園直後は、子どもが心配で仕事に集中できない保護者も多いと思われます。そのため、子どもが、園の生活になじむまでは、特に、ていねいに観察し、不安を無くし、落ち着いて生活できるように、子ども一人ひとりに合った対応を心掛けています。さらに、例年、午後7時半以降は、学童保育児も一緒に過ごすので、年代間の交流がスムーズにいくように配慮しています。例年、徐々に慣れて行けるように配慮しており、今年度は、コロナウィルス感染症対策を行いながら、不安な事などの確認・相談を受け、子どもが安心して過ごせるよう工夫をしています。</p> <p><b>退園や卒園の子どもや保護者の不安を軽減し、継続性に配慮した支援に努めています</b></p> <p>子どもが退園、卒園する際には、健康手帳を返し、その後の施設でも継続的に支援してもらえるように配慮しています。また、園の行事の際には、案内を3年間届け続けて、いつでも、遊びや相談に来園できるように配慮するなど、子どもとのつながりを大切にしています。卒園児には、行事参加で来園の際、名簿に氏名を記入してもらっていましたが、平成30年度からは、中途退園児にも、記名してもらおうようにしています。卒園・退園後も、引き続き身近で安心できる存在として、取り組んでいます。</p>		

サブカテゴリ-3		
3	個別状況に応じた支援方針作成・記録	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 12/12
<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している	○非該当
●あり ○なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している	○非該当
●あり ○なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている	○非該当
<b>評価項目2</b> 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している <span style="float: right;">評点(〇〇〇〇〇)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している	○非該当
●あり ○なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直しをしている	○非該当
<b>評価項目3</b> 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある	○非該当
●あり ○なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している	○非該当
<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している	○非該当
●あり ○なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している	○非該当
サブカテゴリ-3の講評		
<b>健康カード、児童票等を活用して子ども一人ひとりの発達や健康状況を把握しています</b> 保育園には、児童表、健康調査書、発達調査書、健康カード、個人記録、育成記録などの様々な調査・記録表があり、個別の心身・生活状況を記録しています。これらの様々な書類を活用して、子どもや保護者の日々の生活の課題を把握し、園が求められていることや、適切な対応方法などを明確にし、個々の子どもに最適な保育を提供するように努めています。必要に応じて、適宜、職員会議、クラス会議等で報告、検討を行い、子ども一人ひとりの状態を把握しています。		
<b>指導計画の理解を深めるため、保護者にわかりやすく伝える工夫をしています</b> 指導計画は、保育理念や保育目標に基づき、全体的な計画を踏まえて養護、教育を考慮した各領域について、年間指導計画を作成し、月・週案へと展開しています。また、指導計画は2歳児まで個々の状況に応じて作成し、個別の配慮や要望、課題については、保護者との日常の会話や面談で得た情報をふまえて作成、見直しをしています。保護者には、例年、事業説明会や懇談会等の機会を設け、保育方針や目標を伝えています。今年度は、コロナ感染症のため開催を控え、クラスだよりや掲示等で子どもの姿を伝えるなど工夫しながら、保護者の理解を深めています。		
<b>指導計画や子ども個々の状況を職員全員が把握して保育をしています</b> 子ども一人ひとりに関する情報は、個人記録、育成記録等に発達経過を記録しています。子どもや家庭の状況は送迎時の会話や連絡帳、個人面談等で把握し、状況の変化や気になる点があれば、全体会議及びクラス会議で報告し、指導計画や子ども個々の状況を職員全員が把握、共有しています。全体会議やクラス会議は月1回の定例に加え、必要に応じて臨時に開催して話し合い、情報共有しています。また、日常の引き継ぎ、申し送りは担当間の口頭連絡や各クラスの申し送りや引継ぎ、伝達ノートに記載し、毎日、必ず確認して確実に伝えるようにしています。		



サブカテゴリ-5	
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重 <span style="float: right;">サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況 5/5</span>
<b>評価項目1</b> 子どものプライバシー保護を徹底している <span style="float: right;"><b>評点(〇〇)</b></span>	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部和やりとりする必要がある場合には、保護者の同意を得るようにしている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
<b>評価項目2</b> サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している <span style="float: right;"><b>評点(〇〇〇)</b></span>	
評価	標準項目
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている <span style="float: right;"><input type="radio"/>非該当</span>
サブカテゴリ-5の講評	
<b>個人情報の保護や子どもの羞恥心への配慮など、様々な取り組みがなされています</b> 個人情報保護については、個人情報保護規定に基づき、適切な取り扱いを心がけています。また、個人情報にかかわる同意書に個人情報の取扱い項目や利用目的等を記載し、入園時に保護者の確認と同意を得ています。また、子どもの羞恥心への配慮としては、おむつ替え、トイレ、昼寝の前後の着替えの際には、ドアや、カーテン、衝立を利用し、他者や外部からの視線を遮るようにしています。プール遊びや水遊び時にはフェンスに目隠しをするなどの対応をしています。	
<b>子ども一人ひとりの尊重や保護者の価値観や生活習慣などに配慮した保育に努めています</b> 入園時の面接調査などで、子ども一人ひとりの個性や保護者の価値観を把握し、記録に残して管理しています。職員は、子どもの個性や保護者の価値観などの情報を共有し、必要に応じた話し合いを行っています。また、具体的な保育の中で、子どもの人権尊重を実践できるようマニュアルを作成し、会議の場や内外研修で研鑽するなど、子どもや保護者に配慮した保育に取り組んでいます。さらに、保護者と職員とのコミュニケーション時には、意見の押し付けにならないように気を付け、日本語の得意でない家族にも配慮しています。	
<b>虐待防止に向けた研修や学びの機会を設け、職員の理解を深めています</b> 虐待防止等については、児童虐待防止対応マニュアルが整備されています。また、例年、日常的には、虐待に関する研修への参加や会議等でのマニュアルを活用した話し合いなど、虐待防止に向けた学びや理解を深める機会を設けています。虐待に関しての報道や情報を得た場合には、園全体で話し合い、事例検証や振り返りを行い、虐待の早期発見や防止に向けた学びの機会としています。虐待等の発見や情報を得た時には、子ども家庭支援センター等の関係機関と連携する仕組みが整っています。	

サブカテゴリー6	
6 事業所業務の標準化	サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 5/5
<b>評価項目1</b> 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている <span style="float: right;">評点(〇〇〇)</span>	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている <span style="float: right;">○非該当</span>
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている <span style="float: right;">○非該当</span>
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している <span style="float: right;">○非該当</span>
<b>評価項目2</b> サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている <span style="float: right;">評点(〇〇)</span>	
評価	標準項目
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている <span style="float: right;">○非該当</span>
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている <span style="float: right;">○非該当</span>
サブカテゴリー6の講評	
<b>基本事項を捉えたマニュアルを整備し、必要に応じて確認ができるようにしています</b> 保育園で活用するマニュアル類は、保育、保健、防災、特別事業、日誌フォーム、虐待への対応、実習生受け入れなどが整備され、マニュアルに基づく業務を行っています。各保育室にマニュアルを常備し、必要な時に参照することができるようにしています。また、研修係を中心に、園内研修、新人研修など、研修の充実をはかり、職員全員が良質で均質な保育を行えるように、業務の標準化に取り組んでいます。例年、自己のスキルアップの為に、年2回以上は自主的に研修に参加しています。	
<b>各種マニュアルの点検・見直しを行い、サービス向上や業務改善に活かしています</b> 各種マニュアル等の作成・更新は、年度末や行事毎、園内研修等の機会に行っており、必要に応じて、その都度、内容の見直しを行っています。保育に関わる内容は、現場の職員の気づきや意見を職員会議で報告し、職員間で共有しています。園全体に関わる業務等の見直しにあたっては、日常の送迎時や個人面談、行事感想、保護者アンケート等で意見や要望を把握し、次年度の保育運営や行事に活かすことで、より良い保育の質の向上を目指しています。	

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリー6-4)

サービスの実施項目		サブカテゴリー4	
		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況	35/35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(000000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけができるよう、環境を工夫している	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○非該当	
評価項目1の講評			
<p>子どもの状況や発達の過程を把握して、主体的に遊べるようにしています</p> <p>一人ひとりの子どもの発達の過程や生活環境は、例年、送迎時の会話、連絡帳、入園後の個人面談などで把握しています。日常の様子は日誌に記載し、定期的に見学票に記録しています。把握した子どもの状況を元に、保育体制を整えています。室内は、玩具を自由に取っ出せ、子どもが遊びだしたところがままごとや構成遊びのコーナーとして遊びの場を保障しています。自分の得意なものを見つけ、自信をもって行動できるように、体育遊び、英語遊び、リトミックなどを取り入れています。静的、動的な遊びの空間を配慮した環境設定を整えています。</p> <p>英語に親しむ活動等を通じて、子どもが文化・習慣の違いなどの理解を深めています</p> <p>年齢、クラスの枠を超えて関われるように、例年、異年齢活動をしています。今年度は、コロナ感染症拡大予防のため、異年齢の活動等は配慮しながら、状況に応じた対応に努めています。例年は、お散歩や集会等で、棟を歩き来して交流の機会をもっています。4、5歳児はグループ分けし月に1回程度異年齢交流を実施しています。異文化への理解や国際感覚を培えるように、2歳児から英語遊びを取り入れています。3歳児からは外部講師を招いてネイティブな英語に触れ楽しく活動しています。5歳児は就学前に近隣の小学校と交流する機会を持っています。</p> <p>子ども同士のトラブルに対して、気持ちに寄り添った適切な対応がなされています</p> <p>配慮が必要な子どもの支援は、保育の中で一緒に過ごすことで子ども同士理解し共に成長できるようしており、配慮が必要な時には個別に援助をしています。職員は関係施設の見学や研修へ参加し保育に反映しています。発達の過程で生じる子ども同士のトラブルに対しては、子どもの表情や行動を観察し、その思いを読み取り、思いに共感し、丁寧に対応しています。噛みつきなどを未然に防ぐために、子どもに寄り添い担任同士情報を共有し、連携した支援をしています。子どもの特性や発達を理解し、子どもへの働きかけや環境を整えています。</p>			
2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(0000)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当	
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当	
評価項目2の講評			
<p>登降園時は保護者との丁寧な対応を心がけ、子どもの情報をやり取りしています</p> <p>登園時は、例年、健康観察を行い、保護者との会話から、前日の子どもの様子や健康状態などを確認しています。合わせて連絡帳からも確認もしています。朝の延長保育の時間帯に得た情報などはクラスごとの「連絡版」に記載し、朝の申し送り伝えて保育に反映できるようにしています。降園時にはその日の子どもの様子を連絡帳に記載し、保護者に口頭で伝えています。体調不良や保育中に気になった様子など重要な事柄はクラスごとの「連絡版」に記載するとともに、口頭で確実に担当職員(遅番、延長番)に引き継ぎ、保護者に直接伝えています。</p> <p>子ども一人ひとりの状況に合わせ家庭と連携し、基本的な生活習慣の自立を支援しています</p> <p>基本的な生活習慣の自立に向けて、年齢発達と一人ひとりの状況に応じて、食具の種類や持ち方、排泄、着脱、手洗いなど必要性ややり方を伝えながら支援しています。園での状況も伝え家庭とも連携した援助をしています。排泄については、子どもの成長にあった援助を心がけ、間隔を把握しトイレに促しています。着脱については着替えの仕方(上を脱いだら上を着るなど)を伝えるほか、ボタンかけなどは玩具を準備して遊びの中で身につくようにしています。着脱については3歳児からスプーンなどが正しく使えるようになった子から順次導入しています。</p> <p>休息や午睡は子どもの年齢や生活リズムを配慮して行っています</p> <p>子ども一人ひとりの体調や睡眠のリズム、保育時間など、年齢ごとに基本的な長さや時間帯発達や健康状態、家庭での生活リズムを考慮して、無理のない睡眠時間を設定しています。0、1歳児は発達状況や保育時間、健康面に配慮し、必要に応じて午前寝など、休息が出来るように環境を整えています。3歳児以上の午睡時間に眠れない子どもについては、一定時間は静かに体を休めることとしています。5歳児は就学に備え、午睡ではなく休憩時間を設定しています。</p>			

3 評価項目3 日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している			評点(〇〇〇〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している		○非該当
●あり ○なし	3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している		○非該当
●あり ○なし	4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている		○非該当
●あり ○なし	5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている		○非該当
●あり ○なし	6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している		○非該当
評価項目3の講評			
<p><b>子どもの自主性や自発性を尊重し、遊び込める工夫や環境を整えています</b></p> <p>子どもの主体性と自由な発想を大切に考えるという方針の基、実践しています。玩具や生活用品等は子どもの手の届くところに設置し、朝夕の自由遊びの時には好きな玩具を出して遊べるようにしています。クレヨンや自由画帳など小さいブロックを個別のロッカーに準備し、自由に制作や構成遊びを楽しめるようにしています。制作途中のものはロッカーに保管し継続して遊びが行えます。集団活動への取り組みは、子どもの興味や関心を引き出し、子ども同士の関りの深まりや広がりをも促し、意欲を持って取り組めるように職員間で検討、援助しています。</p> <p><b>様々な活動を通じて、言葉で伝える大切さや表現することの楽しみなどにつなげています</b></p> <p>幼児クラスには年齢に合わせた絵本が設置され、日頃から絵本に親しんでいます。3歳児からは休み明けなど、休み中に体験した出来事などを発表する機会を設けています。乳児期から生活や遊びの中で保育士と言葉をやり取りし、会話を楽しくするようにしています。また、当番活動などを通して、言葉による伝え合いを楽しめるようにしています。表現活動としては制作やクリスマス会での劇ごっこなどに取り組んでいます。体育遊びでは体感を鍛え、柔軟な体づくりをしています。リトミックでは音楽にのせて体を使って様々な動きを表現しています。</p> <p><b>戸外活動を通して季節の変化を感じたり、子どもの遊びの幅を広げたりしています</b></p> <p>例年、散歩や遠足、園庭などの戸外遊びを通して、季節の移り変わりなどを感じとることができる活動をしています。天気が良ければ少しの時間でも積極的に散歩に出かけるようにしています。園舎のそばには広い運動場があり、英語やリトミックなどのカリキュラムの合間にも、十分に体を動かして遊べる時間を持っています。近隣には大きな神社や公園、競馬場もあります。散歩先で収集した落ち葉やドングリなどの自然物を活用し、描画や制作などの表現活動に繋げています。今年度は、コロナ感染症に配慮しながら、適切な活動を行っています。</p>			
4 評価項目4 日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している			評点(〇〇〇)
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している		○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している		○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている		○非該当
評価項目4の講評			
<p><b>子どもが興味を持って行事に取り組めるように、さまざまな工夫を行っています</b></p> <p>子どもが興味や関心を持ち取り組めるよう、例年、さまざまな行事を計画しています。節分やひな祭りなどの伝統行事や成長を感じ取れる運動会、クリスマス会、季節感じ取れる感謝祭や餅つきなど子どもが興味を持って楽しく取り組めるような様々な行事を行なっています。お楽しみ会は感謝祭と運動し、子どもたちは野菜を切ったりちぎったりして、給食食材の下ごしらえのお手伝いをしています。小さな音楽会では日ごろ取り組んでいるリトミックなどを披露しています。今年度はコロナ感染症拡大防止のため、状況に応じた制限がなされています。</p> <p><b>行事等に取り組む中で、子どもが協力し合い達成する喜びを味わえるよう計画しています</b></p> <p>運動会やクリスマス会では、例年、年齢ごとや異年齢での活動を保育の中で練習を重ね、保護者に披露し子どもの成長を実感し、喜びを職員と共感しています。クリスマス会では表現活動として劇などの発表会をしています。子どもの発想や興味を内容に活かし、子どもたちの話し合いの中で積極的にアイデアを出し、準備を進めています。役も自ら選び意欲的に取り組む姿が見られています。子どもたちが作り上げていく過程も大切に、喜びや達成感を味わえるようにしています。</p> <p><b>行事を通して子どもの成長や保育園の取り組みの理解を深めてもらうようにしています</b></p> <p>例年は、年度初めに保護者参加行事が明示されている年間行事予定等を配付し、日程調整など見直しを持って多くの保護者が参加できるように配慮しています。今年度は、コロナ感染症の影響を受けて、行事の内容が変わったり、見通しが立たなかったりしていることから、適宜、行事の案内や園便り、クラス便り、掲示などで予定を知らせています。保護者が参加しない行事については、写真にコメントを添えて掲示し、子どもたちの頑張っている姿や行事を楽しんでいる様子をわかりやすく伝えています。</p>			

5 評価項目5 保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている	○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている	○非該当
評価項目5の講評		
<p>子どもが長時間の保育を楽しめるように、環境や活動を工夫しています</p> <p>子ども一人ひとりの生活リズムや特性をふまえた対応に努め、長時間にわたる保育園での生活をゆったりと無理なく過ごせるよう配慮しています。室内は年齢に合わせて環境を整え、0歳児はほふく室(畳の空間)や1、2歳児は予備室を活用してゆったりと落ちついて過ごせるようにしています。子どもの様子に合わせてデイリィーを組み、臨機応変な変更も可能としています。3～5歳児は集団での活動に疲れた時などは、事務所で園長が優しく受け入れ、ごさを敷いて絵本を読んだり会話を楽しみ、気分転換してクラスに戻れるようにしています。</p> <p>延長保育では週案をたて、日々変化のある活動が楽しめるよう工夫しています</p> <p>担当職員は年齢ごとに担任がシフトを組んで担当しています。18時から延長保育となり、19時までに降園する子どもについては補食を提供しています。延長保育では週案をたて、日々変化のある活動が楽しめるよう工夫しています。0歳児は、法人で運営している学童事業で使用している送迎バスを活用して、幼児棟に安全に移動しています。棟は分かれています、日頃から関わる機会を持っており、専用玩具も準備して楽しく過ごせるように配慮しています。</p>		
6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p>子どもが楽しく落ち着いた環境で、安心して食事ができるように配慮しています</p> <p>食事は楽しく落ち着いてとれるように、例年、0、1歳児のテーブルはドーナツを半分にしたような形で、保育士が中心に座り一人ひとり丁寧に援助しています。3～5歳児はグループごとに会話を楽しみながら食事をしています。今年度は、コロナウィルス感染拡大防止の対策を行いながら、適切で安全に食事がとれるよう配慮しています。椅子やテーブルは年齢や発達に合わせ、正しい姿勢で食べられるようにしています。例年は、ウッドデッキでの食事や七夕、クリスマス、お別れ会などの行事の際に会食の機会を持ち、食事を楽しんでいます。</p> <p>園の栄養士が季節の食材をとり入れ栄養に配慮した献立を作成し提供しています</p> <p>給食は園の栄養士が季節の食材をとり入れ栄養に配慮した日替わり献立を作成し提供しています。毎月献立会議を実施し前月の子どもたちの喫食状況を踏まえて検討し、次月の献立に反映しています。例年、行事の際には野菜の型抜きなど見た目も楽しい盛り付けで提供しています。食物アレルギーのある子どもについては、入園時に担任や看護師、栄養士が状況を確認し、医師の診断書をもとに除去又は代替え食を提供しています。専用プレートに名前とアレルギー食材を記載し、提供時にはその日の除去食品を添付して、誤食の無いように提供しています。</p> <p>野菜の栽培や調理保育などの食育活動を通し、食の関心や食べる意欲を育てています</p> <p>年齢ごとの「食育年間計画」を作成し、食への関心や興味が持てるように取り組んでいます。例年、プランターでは野菜を栽培し、生長を見守り収穫後には調理してもらい給食で食しています。また、郊外にトウモロコシ狩り体験に行き調理活動に活用しています。餅つきでは蒸かすところから子どもたちの目の前で行ない、つきたてのお餅を味わっています。さらに、例年、懇談会では園長を囲む会を開催し、給食の試食もしてもらい、園の給食の味つけを知ってもらう機会としています。子どもの活動の様子は写真などで伝え共有できるようにしています。</p>		

7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p>日々の活動の中で子どもが自ら健康や安全に興味を持てるように援助しています</p> <p>けがの防止や身の回りの危険について子どもの伝えるために、毎月の避難訓練や日々の遊びの中でその都度(固定遊具の使い方など年度初めに職員間で確認)伝えていきます。交通安全指導として警察官による集会(乳児から参加)や信号や模擬歩道を使って道路の歩き方や渡り方(3歳児から)を学んでいます。健康については看護師が朝の会や各クラスをラウンドした際に、その時期に必要な健康に関することを伝えていきます。今年度は、コロナ感染症予防として、うがい、手洗いの励行を徹底し、園舎内の消毒清掃、玩具類の定期的な消毒などを行っています。</p> <p>医療関係機関との連携や研修に参加し子どもの健康管理に努めています</p> <p>医療的なケアが必要な子どもについては、医師が記入した診断書の提出を依頼しています。定期的に専門機関とのケース会議を行ない、園での支援に活かしています。嘱託医による年2回の内科検診(0、1歳児は月2回)や年1回の歯科検診、視聴覚検査を実施し、子どもの健康管理についてのアドバイスも受けています。看護師が4名在籍しており、専門機関とも連携して子どもの健康管理や体調の変化に対してきめ細かく対応しています。自動体外除細動器(AED)の使い方については、全職員が上級救命講習の中で学び、緊急時に備えています。</p> <p>保護者に健康に関する情報を掲示したり、保健だより等で知らせています</p> <p>子どもの病気に関することは、入園のおしりに登園届が必要な感染症や登園許可証が必要な感染症などについて記載があり、感染症にかかった場合の対応方法を伝えています。園内で感染症が発生した時には、原因や症状、潜伏期間などを記載して各クラスに掲示し、注意喚起しています。保健だよりでは時期に流行る病気の症状や治療法などとともに予防接種の大切さを伝え、園と家庭とで連携して感染予防が出来るように努めています。乳幼児突然死症候群(SIDS)防止対策のため、園では午睡チェックとしてうつぶせ寝の禁止、呼吸や体位を確認しています。</p>		
8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当
評価項目8の講評		
<p>多様な就労状況を考慮し保育時間、行事日程など、保護者の希望に沿うよう努めています</p> <p>個人面談や送迎時の会話、連絡帳等で各家庭の就業状況などを把握・考慮し、保護者が安心して子どもを預け、仕事ができるように支援しています。把握した情報は、児童票等に記載し、職員間で共有しています。保護者それぞれの事情に配慮し、保護者の立場に立った対応が心がけられています。例年は、年度初めに保護者参加行事が明示されている年間行事予定等を配付し、多くの保護者が参加できるように配慮しています。日祝日は19:00まで、月～土曜の保育時間は早朝から深夜まで受け入れを行い、できるだけ保護者の希望に沿うように努めています。</p> <p>保護者懇談会、年間行事など、保護者同士や職員との交流の機会となっています</p> <p>保護者同士が交流する機会として、例年、保護者懇談会、園長を囲む会、運動会などの年間行事、その他の機会を含め、多く設けています。保護者懇談会では、より活発に自分の思いや意見、日頃の悩みなどを言いやすい雰囲気づくりを行い、保護者同士で育児の参考にできる情報交換を行っています。今年度は、コロナ感染症の影響により、保護者同士が交流する機会が少なくなっています。今後はさらに、新たな日常としてwithコロナを考慮し、保護者同士の交流の機会を創出し工夫が期待されます。</p> <p>園での生活や活動の様子を工夫しながら伝え、保護者の養育力の向上に努めています</p> <p>子どもの発達や育児について保護者と共に考え取り組んで行こうと考えています。例年、保護者に子どもの発達や子育てについての園の考えや取り組みを知ってもらい、協力し合いたいと考え、保護者懇談会、園長を囲む会、年間行事、その他さまざまな交流と相互理解の機会を設けています。今年度は、コロナ感染症の状況をみながら、感染拡大防止対策を行いながら、園での保育の様子や子どもの成長した姿をわかりやすく保護者に伝えるなどの工夫をして、保護者の養育力向上に努めています。</p>		

9 評価項目9		地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)	
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している		○非該当	
●あり ○なし		2. 園の行事に地域の人参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している		○非該当	
評価項目9の講評					
<p>ボランティアや実習生の受入れ等地域資源を活用し、子どもの生活の幅を広げています</p> <p>園では地域に根ざした保育園を目指し様々な地域資源を活用し、子どもの生活の幅を広げています。例年では、高齢者施設との交流、中学生の職場体験や小学校との交流、子育て支援を利用する地域の親子、保育実習生やボランティアの受け入れなど、様々な地域資源を活用し、子どもたちの多様な体験や交流に取り組んでいます。今年度は、コロナ感染症対策のため、活動の制限がありますが、できる範囲で取り組みが検討されています。</p> <p>地域の方との交流等を通じて、子どもたちが地域を知る機会をつくっています</p> <p>職員以外の人と交流する機会として、例年では、愛児園まつりや餅つき等、園の行事への参加を地域に呼びかけ、楽しむなどしています。さらに、市のイベントや交通パレードなどには年長児たちによる鼓笛隊が定例出演するなど、地域のイベントへも参加しています。さらに、散歩のときに挨拶をしたりするなど、地域の方々と触れ合うきっかけになっています。今年度は、コロナ感染症対策のため、活動の制限がありますが、できる範囲で取り組みが検討されています。</p>					

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル①	戸外活動を通して季節の変化を感じたり、子どもの遊びの幅を広げたりしています	
内容①	例年、散歩や遠足、園庭などの戸外遊びを通して、季節の移り変わりなどを感じとることができる活動をしています。天気が良ければ少しの時間でも積極的に散歩に出かけるようにしています。園舎のそばには広い運動場があり、英語やリズムなどのカリキュラムの合間にも、十分に体を動かして遊べる時間を持っています。近隣には大きな神社や公園、競馬場もあります。散歩先で収集した落ち葉やどんぐりなどの自然物を活用し、描画や制作などの表現活動に繋げています。今年度は、コロナ感染症に配慮しながら、適切な活動を行っています。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-9	地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている
タイトル②	地域の方との交流等を通じて、子どもたちが地域を知る機会をつくっています	
内容②	園では地域に根ざした保育園を目指し様々な地域資源を活用し、子どもの生活の幅を広げています。例年では、高齢者施設との交流、中学生の職場体験や小学校との交流、子育て支援を利用する地域の親子、保育実習生やボランティアの受け入れなど、様々な地域資源を活用し、子どもたちの多様な体験や交流に取り組んでいます。職員以外の人と交流する機会として、例年では、愛児園まつりや餅つき等、園の行事への参加を地域に呼びかけ、楽しむなどしています。さらに、散歩のときに挨拶をしたりするなど、地域の方々と触れ合うきっかけになっています。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	3-1-1	社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる
タイトル③	守るべき規範、倫理に対して就業規則の確認や研修の実施等で理解を深めています	
内容③	職員として守るべき法・規範、倫理は、就業規則等に社会人としての姿を明示し、確認しています。また、入職時の就業規則の説明や新人研修、職員会議での事例検証などにより、職員の理解を深めています。非常勤職員等については、契約時の説明と誓約書により、内容の理解と確認がなされています。苦情解決等については、担当者、第三者委員等の設置による苦情解決制度が整備されていることを明確化し、定期的に第三者委員の紹介もなされています。苦情等に対しては、苦情解決マニュアルや苦情処理記録等を作成し、適切な対応を心がけています。	



No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	子どもの自主性や自発性を尊重し、遊び込める工夫や環境を整えています
	内容	幼児クラスには年齢に合わせた絵本が設置され、日頃から絵本に親しんでいます。3歳児からは休み明けなど、休みに体験した出来事などを発表する機会を設けています。乳児期では、生活や遊びの中で保育士と言葉を取り取りし、会話を楽しくするようにしています。また、当番活動などを通して、言葉による伝え合いを楽しめるようにしています。表現活動としては制作やクリスマス会での劇ごっこなどに取り組んでいます。体育遊びでは体感を鍛え、柔軟な体づくりをしています。リトミックでは音楽にのせて体を使って様々な動きを表現しています。
2	タイトル	子ども一人ひとりの尊重や保護者の価値観や生活習慣などに配慮した保育を行っています
	内容	入園時の面接調査などで、子ども一人ひとりの個性や保護者の価値観を把握し、記録に残して管理しています。職員は、子どもの個性や保護者の価値観などの情報を共有し、必要に応じた話し合いを行っています。また、具体的な保育の中で、子どもの人権尊重を実践できるようマニュアルを作成し、会議の場や内外研修で研鑽するなど、子どもや保護者に配慮した保育に取り組んでいます。また、例年、日常的には、虐待に関する研修への参加や会議等でのマニュアルを活用した話し合いなど、虐待防止に向けた学びや理解を深める機会を設けています。
3	タイトル	職員の能力向上のニーズを確認し、人材育成に取り組み、日常の気づきや工夫等を話し合い、職員の能力向上を図っています
	内容	人材の育成について、職員一人ひとりが毎月に立てた能力向上の目標に基づき、クラスリーダーや相談役が面談・助言等を行っています。また、研修係を中心に、園内研修、新人研修など、研修の充実を図り、職員の育成に取り組んでいます。職員一人ひとりの気づきや工夫について、各クラスや責任者会議で話し合い、共有しています。さらに、職員受講後は、研修報告や資料の閲覧、職員会議での発表等により、職員間の共有化を図っています。園内研修では、テーマを設定した話し合いがなされ、組織としての学びと能力向上を図っています。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	園運営に対する様々なリスクマネジメントが行われていますが、今後はさらに、職員の理解と周知を深めていくことが期待されます
	内容	園運営におけるリスクに対して、保健・安全管理・感染症などの各種マニュアルを整備しています。毎月の避難訓練では、様々な場面を想定した訓練や、例年、消防による救命救急交流や警察による交通安全講習などの機会等があり、職員や子どもの危機管理意識の向上に取り組んでいます。また、夏季の熱中症予防、感染症時期の嘔吐処理対策など、季節に応じたリスクマネジメントにも取り組んでいます。なお、リスクマネジメントへの取り組みがなされていますが、今後はさらに、職員一人ひとりへの理解の確認を進めていくことが期待されます。
2	タイトル	地域に開かれた保育園として専門性を還元していますが、より子育て支援の向上を図るために職員のスキルアップが期待されます
	内容	地域に開かれた保育園として、例年、ボランティアや実習生、小中学校の職場体験等の受入れに取り組んでいます。地域の子育て支援では、一時保育や子育て広場を実施し、地域の在宅子育て家庭の支援を行っています。また、地域の高齢者施設や在宅支援センターとの交流、地域の行事への連携や交流、府中市立園長会、福祉祭り、虐待委員会参加、などを通じて、地域社会の一員としての役割を果たしています。なお、地域の子育て支援では、より支援が必要な状況もうかがわれることから、今後はさらに、職員のスキルアップをしていくことが期待されます。
3	タイトル	保育園の最新情報や、タイムリーな情報発信に向けてホームページの定期的な更新を行っていくことが期待されます
	内容	入園を希望される方に向けて保育園の情報や案内を発行しています。また、入園を希望する保護者が具体的に理解できるように、パンフレットは、イラストで保育の特色や園での子どもの生活する姿を分かり易くするなど工夫がなされています。さらに、最新の園の様子や情報を発信し、入園を希望する保護者が具体的に理解できるように、平成30年度にリニューアルしましたが、ホームページの更新に関しては、課題意識が伺われ、今後はさらに、担当職員の配置や新規情報の提供を行っていくことが期待されます。